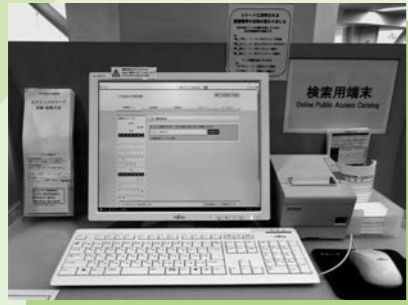




LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

OPAC (検索用端末) を ご活用ください。

図書フロアに設置されている館内OPACには、本の検索だけでなく様々な機能があることをご存じですか？



- パスワード・メールアドレスの登録
- 「マイページ」で利用状況を確認
- 資料の予約

さらに…

- 新着資料や貸出・予約の多い資料の一覧を見ることができます
 - 千代田区立図書館が所蔵する3つのコレクション(「内務省委託本 & 出版検閲コレクション」「古書販売目録」「内田嘉吉文庫」)の横断検索ができます
- ぜひ、ご利用ください！
※タッチパネル式のOPACでは利用できない機能があります。

大人のボードゲーム部



ボードゲームは相手プレイヤーとの交渉力や、序盤から終盤までの展開を予想した戦略性が問われる大人こそ楽しめる遊びです。今回は、大人でもじっくりと楽しめるゲームから、10分程度で気軽に楽しめるゲームまで幅広い種類のゲームを用意しています。初心者の方もぜひご参加ください。

- 日時：4月26日(金) 18:30~20:30(18:15開場)
 - 対象：18歳以上
 - 定員：20名
 - 会場：4階セミナールームA
 - 参加無料
- 事前申込みが必要です。お問い合わせはホームページまたは日比谷図書文化館 03-3502-3340(代表)まで

予告 ヨムクちよだ2024

親子で楽しむ！日比谷ボードゲーム部

- 日時：5月11日(土) 14:00~16:00(13:45開場)
 - 対象：未就学児~小学校3年生のお子様と保護者
- 4月5日(金)より申込み開始

展示 PICK UP

3F ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ~6/14(金)

禁 -Taboo-



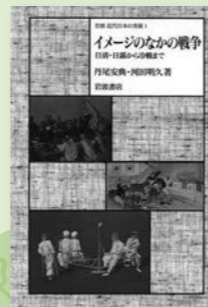
古来より社会で忌避されてきた事柄を「タブー(taboo)」といいます。タブー視されている事柄には偏見に基づいていたり、社会の都合によって隠蔽されていたりするものも多くあります。本展示ではタブーについて考えていただけるように、禁忌、禁域、社会、戦争、文学、芸術、性、恋愛という8つのトピックに分類し紹介します。



現在では出版流通されている、かつての発禁本も展示中です。



『ナボコフ・コレクション
ロリータ 魅惑者』
● ウラジーミル・ナボコフ 著
● 若島 正、後藤 篤 訳
● 新潮社 ● 2019年



『岩波近代日本の美術1
イメージのなかの戦争
日清・日露から冷戦まで』
● 丹尾 安典、河田 明久 著
● 岩波書店 ● 1996年

4月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「新紙幣の使いかた」(~/7/12) NEW!

2024年7月から新しいデザインの紙幣が発行されます。前回のデザイン変更から20年が経過し、世界の動きや技術の進化によって、お金のあり方や使い方も変わりました。この展示ではお金の新しいかたちや使い方を学べる本を並べています。

2F パープルゾーン 特別展「しりあがりさんとタイムトラブル 江戸×東京」関連展示 (4/1~6/23) NEW!

4月26日から開催の特別展にあわせて、しりあがり寿氏の著書や、パロディー作品のオリジナルである葛飾北斎『富嶽三十六景』をはじめとする浮世絵の作品集などをご紹介します。有名作品の魅力であらためて感じていただける展示です。

3F グリーンゾーン 「神話・伝説・民話~語り継がれる理由~」(~/5/17)

いにしえから語り継がれる神話・伝説・民話の関連書籍を紹介し、世界中の説話の原典から始まり、その文化と歴史を辿りながら、どのような姿で現在に息づいているのかを解き明かす展示です。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

パッケージデザインや広告宣伝などを担当する傍ら、マンガ家としてデビューし、白土三平の作品のパロディーやサラリーマンの生活を描いたギャグマンガ、新聞連載の社会派4コママンガ、不条理マンガなど様々なジャンル

の作品を制作してきたしりあがり寿氏。2018年・2021年には江戸時代浮世絵の巨匠である葛飾北斎筆『富嶽三十六景』(1830・32年頃)をパロディーにした『ちよつと可笑しなほほ三十六景』(1856年)などを基に千代田区の風景を描いた

新作をお見せします。浮世絵において最大のライバルとされた北斎と広重が描いた江戸時代の風景に、しりあがり寿氏が描きこんだ現代の文物や人々のタイムトラブルを見て、クスッと笑



しりあがり寿(千代田区神田秋葉原コスプレノ図) 2024年

プロフィール ● しりあがり寿(漫画家)1958年生まれ。多摩美術大学を経て1985年『エレキな春』で漫画家としてデビュー。ギャグから社会派まで幅広いジャンルの漫画作品を手がける一方、映像、現代アートなど多方面で活躍。2014年、紫綬褒章受章。



関連講座 しりあがり寿講演会

講師：しりあがり寿(漫画家)、すみだ北斎美術館 学芸員
漫画家・しりあがり寿と浮世絵専門学芸員が浮世絵パロディー作業について語ります。

- 日時：5月1日(水) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(申込順) ● 参加費：1000円

《予告》 特別展 しりあがりさんと タイムトラブル

江戸×東京

4.26 FRI. 6.23 SUN.

● 休館日：5月20日(月)、6月17日(月)
● 開館時間：月~木・土：10時~19時、金：10時~20時、日・祝：10時~17時(入室は閉室の30分前まで)
● 会場：1階特別展示室
● 観覧料：一般500円、大学・高校生300円、区内在住者・中学生以下の方・障害者手帳などをお持ちの方とその付き添いの方1名は無料(各種確認できるものを提示) ● 主催：日比谷図書文化館

calendar 開館時間：平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2024年 4月							2024年 5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



4・5月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

4/16(火) マンガの“いま”を考える② マンガでわかる「病」の捉え方 —「医療マンガ」の社会機能とマンガ表現の可能性

講師：中垣 恒太郎(専修大学文学部教授)

多様な発展を遂げている医療マンガの世界を通して現代社会の様々な問題が浮かび上がってきます。介護や障がい、メンタルヘルスなどの周辺領域を包括した生存学、健康人文学、グラフィック・メディスンの概念を参照しながら広義の医療マンガの現在形を展望し、その社会的機能、表現の可能性を探ります。

- 日時：4月16日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円



『日本の医療マンガ50年史
マンガの力で日本の医療を
わかりやすくする』(SCICUS)

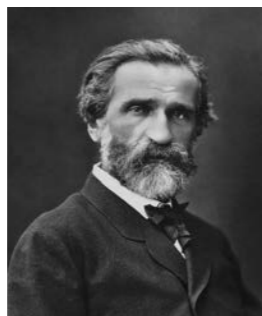
4/18(木)他 日比谷オペラ塾 オペラ・あ・ら・かると bis(全3回)

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介します。4月は、ヴェルディのオペラの舞台になっているヴェネツィアとジェノヴァの2つの「海の共和国」にスポットを当て、なぜヴェルディが2つの都市を選んだのかを、加藤浩子さんが読み解いていきます。

(主催：フェニーチェ劇場友の会、共催：日比谷図書文化館)

- 日時：4月18日(木)19:00～20:30(18:30開場)
二つの「海の共和国」とヴェルディ
講師：加藤浩子(音楽評論家)
- 5月16日(木)19:00～20:30(18:30開場)
モーツァルトとサリエリ、その真実
講師：水谷彰良(日本ロッシーニ協会会長)
- 6月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
オペラになったイタリア演劇作品
講師：大崎さやの(イタリア演劇・文学研究家)

- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：各回60名
- 参加費：各回1500円 ※各回ごとのお申込みが可能です。



ジュゼッペ・ヴェルディ
(1813-1901)

4/26(金) 江戸歴史講座 第78回 徳川家康は活字人間だった!! ～江戸時代の印刷・出版文化

講師：緒方 宏大(TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館 学芸員)

徳川家康には、書物を愛し、印刷・出版事業を行ったもう一つの顔がありました。そんな活字人間としての一面を、家康が行った伏見版木活字と駿河版銅活字による印刷・出版事業を中心に紹介します。あわせて、家康がもたらした江戸時代の印刷・出版文化の発展についてもお話しします。



駿河版銅活字

- 日時：4月26日(金)19:00～20:30
(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)

5/18(土) 西館好子「子守唄のちから ～オルガニートの調べとともに～」

講師：西館 好子(NPO法人日本子守唄協会 理事長)

子どもをお守りするときに唄われた「子守唄」は唄であって歌ではありません。「子守唄」は現代にこそ、子育てのバイブルとして見直し活用される素材だと思います。まずは、女性たちの知恵が詰まった歴史をひも解いて考えていきたいと思います。当日は、手作りオルガニートオルゴールの子守唄の調べとともにお話をお届けします。



- 日時：5月18日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：1000円

5/30(木) 星のソムリエ® 星空教室 ～天文学史編 第1回「天動説から地動説まで」

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)
北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

現代に生きる私たちは、長い歴史に渡る多くの天文学者らの努力や叡智を受け継いで宇宙を理解できるところまで到達しました。今年度の「星空教室」は、現代につながる宇宙科学の歴史を「人物」を軸に学びます。第1回は、科学の誕生、古代ギリシア科学からコペルニクス登場までを辿ってみましょう。



クラウディオス・プトレマイオス

- 日時：5月30日(木)19:00～21:00
(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：1000円

5/8(水) ヨムキクちよだ2024 ユーモアとナンセンス ～長新太の世界をあじわう

講師：土井 章史(フリーの絵本編集者)

『ぼくのくれよん』、『ごろごろにゃーん』、『キャベツくん』…独特のユーモアで、ナンセンス絵本の新境地を開いた長新太。その作品は、大人たちにはわからないといわれながら、たくさん子どもたちを楽しませてきました。数多くの絵本を編集してきた土井章史氏が、長新太作品の魅力を語ります。

- 日時：5月8日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民は無料)



ヨムキクちよだ2024

期間 4月19日(金)～5月12日(日)

「こどもの読書週間」に合わせ、読書に親しめるイベントや展示がもりだくさん。詳しくはパンフレットやホームページをご覧ください。



(全館) としょかんをめぐる!スタンプラリー

「ヨムキクちよだ2024」期間中に区立図書館を巡ってスタンプを2つ以上集めた方へ、プレゼントを差し上げます。(数量限定、なくなり次第終了)

(千代田図書館) えほんの世界へようこそ!
日本大学合唱団と読み聞かせのコンサート

「日本大学合唱団」によるコーラスと、千代田図書館司書による絵本の読み聞かせを組み合わせた、赤ちゃんから大人まで楽しめるコンサート。(ベビーカーでの入場可/途中入退場可)

- 日時：4月27日(土)①11時30分～②15時～(各回45分間)
- 場所：千代田区役所1階 区民ホール ●定員：80名程度(申込不要)

(千代田図書館) こどもの読書週間展示「せかいをいろどる本たち」

「いろどり」をテーマに、おすすめの絵本など約30冊を展示。

- 期間：4月19日(金)～5月12日(日) ●場所：9階=第2展示ウォール

(日比谷図書文化館) ヨムキクちよだ2024関連展示「本を楽しむ」

子どもにおすすめする本の他、大人の読書の入り口になるような資料を展示します。

- 期間：4月19日(金)～5月12日(日)
- 場所：2階エレベーターホール

(四番町図書館) 番町の森deおはなし会 ～子どもおとなも楽しむひととき～

図書館を飛び出し、青空の下で楽しめるイベント。四番町図書館スタッフ、学校支援司書、ボランティアが随時読み聞かせやワークショップを行います。メインブースでは、1時間に1回多彩なプログラムでおはなし会を開催予定。

- 日時：4月20日(土)11時～15時※雨天中止
- 場所：番町の森(千代田区二番町14)※申込不要

まちかど図書館の展示

(神田まちかど図書館)

- 「ぼかぼかはる」 ●期間：4月1日(月)～30日(火)
- 「としょかんのおすすめえほん」 ●期間：5月1日(水)～31日(金)

(昌平まちかど図書館)

- 「よんでおきたい!この1冊」 ●期間：4月19日(金)～5月11日(土)

古文書塾てらこや本講座 開講

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開催します。



	講座名	曜日・時間	実施日		
入門コース 120分 (全5回)	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	4/8		
		(月) 13:30～	4/8		
		(火) 10:30～	4/9		
		(木) 13:30～	4/11		
		(金) 13:30～	4/12		
	(金) 18:30～	4/12			
本科コース 120分 (全5回)	いろはの次一 古文書いろいろ(午前クラス)	(火) 10:30～	4/16		
		(火) 13:30～	4/16		
	文人画と碑文―掛軸を読む	(日) 13:30～	5/5		
		古文書の保存・修復の知技能―古文書保存のセラピスト講座	(火) 13:30～	4/23	
			武家文書を読む―幕府崩壊事情	(水) 13:30～	4/17
			幕末・江戸庶民の世相を読む―「弘化・嘉永雑記」の世界	(木) 10:30～	4/18
特別講座 90分 (全5回)	くずし字で楽しむ江戸歌舞伎	(土) 13:00～	4/13		
		大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	4/9	
	開国ニッポンの外国人	(水) 13:30～	4/10		
		江戸を楽しむ―江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	4/18	
		江戸・明治の書状を読む―形式と内容、一步から	(金) 18:30～	4/12	
		特設・ 月1回コース 90分(全3回)	ハーバード大学本『源氏物語 須磨』の変体仮名を読む	(土) 13:00～	5/4
陽明文庫旧蔵『百人一首』の変体仮名を読む	(土) 15:30～		5/4		

- 会場：4階スタジオプラス、セミナールーム ■定員：各講座23名(申込順)
- 参加費(初回一括払い)：【入門コース】16,800円(全5回/各回120分/資料代500円) 【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/資料代500円) 【特設・月1回コース】8,190円(全3回/各回90分/資料代300円) ※特設・月1回コース『源氏物語 須磨』を読むは、『ハーバード大学本 源氏物語 須磨』(新典社 1,760円税込)を、また『百人一首』の変体仮名を読むは、『陽明文庫旧蔵 百人一首(抄)』(予価1,760円税込)をそれぞれテキストとして用います。(当館でのご用意も承ります。)
- 資料請求・講座のお問い合わせ：電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾てらこや担当迄

特別研究室企画展示

〈予告〉内田嘉吉文庫に見る 日本統治期台湾の産業



鹽水港製糖旗尾工場(高雄)
『台湾銀行二十年誌』/1919年

日本統治期の台湾では製糖業の発展とともに数々の産業インフラが整備され、近代化が進みました。製糖業のほかにも灌漑設備の整備と品種改良により内地にも多く移出された米、試験場と伝習所の設置により本格的に発展した茶業、化学産業としての樟脳などの成長もめざましいものがありました。台湾総督府民政長官、台湾総督を歴任した内田嘉吉の旧蔵書にはこれら台湾の産業関連の資料も多く残されています。本企画では、当時の台湾の様子を「産業」という視点から紹介します。

- 主な展示図書(予定)
『台湾銀行二十年誌』(1919年)
『台湾事情』(1922～32年)
『嘉南大圳新設事業概要』(1930年)ほか
- 期間：4月16日(火)～6月30日(日)
- 開室時間：平日10:00～20:00、土曜10:00～18:00、日曜・祝日10:00～16:00
- 会場：4階特別研究室

入場無料